

反転したタングの修復方法



タングのハーネスを通してある穴は、タングの反転やよれを発生しにくくするために細くなっており、それでも、ご使用中にハーネスがよれた部分をタングが通ってしまい、左画像のようにハーネス上でタングが反転してしまうことがあります。



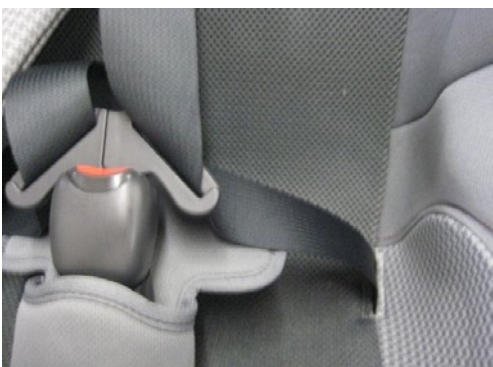
①バックルにタングを留めねじれている向きを確認してください。
ハーネスの本体付け根部分が正しい向きになるよう、ねじれた部分を2つに折ります。
※この時、折り重なる部分が鋭角の三角形になるようにしてください。



②三角形のかたちが崩れないよう、ハーネスの鋭角に折り重ねた先端部分からゆっくりとタングへ通します。
※通す際に折り重ねた先端部分側にあるタングの端を傾け斜めにすると通しやすくなります。



③折り目を動かさないまま、タングを折り重なった部分全て抜けるまで、タングへ通します。



④最後まで通し終わると、タングの向きが変わり、腰側ハーネス部分のタングの反転が修復されます。修復後はハーネスのよれが肩ハーネス側に移りますので、肩ハーネスにねじれがあるようでしたら、本体背面より、ハーネスをハンガーから取りはずしていただき、ねじれの無い向きにセットしてください。